

## 本文

※例文は学習用です。

- ① 死馬か且い買やレ之、況い生い者もの乎。／死馬かすら且これつ之いをい買おふ、況いんや生いける者ものをや。
- ② 庸人ようじん尚な羞はレ之、況い於い將しょう相じょう乎。／庸人ようじんすら尚なほ之これをは羞はづ、況いんや將しょう相じょうに於いてをや。
- ③ 布衣ふい之な交まじ尚な不な二ふ相ふ欺ま一、況い大たい国こく乎。／布衣ふい之な交まじはりすら尚なほ相ふ欺まかず、況いんや大たい国こくをや。
- ④ 死し且し不しレ避い、卮酒ししゅう安あ足じレ辞じ。／死しすら且しつ避いけず、卮酒ししゅう安あくんぞ辞じするに足あらんや。
- ⑤ 一飯いっぺん之な徳とく猶な報こレ之、況い大たい恩おん乎。／一飯いっぺん之な徳とくすら猶なほ之これに報こゆ、況いんや大たい恩おんをや。
- ⑥ 禽獸きんじゅう猶な知ちレ恩、況い於い人ひと乎。／禽獸きんじゅうすら猶なほ恩おんを知る、況いんや人ひとに於いてをや。
- ⑦ 小しょう人じん且く畏おそレ天、況い君くん子し乎。／小しょう人じんすら且くつ天てんを畏おそる、況いんや君くん子しをや。
- ⑧ 匹夫ひつぷ猶な不なレ可こレ奪だレ志、況い大たい丈じょう夫ふ乎。／匹夫ひつぷすら猶なほ志こころざしを奪うばふべからず、況いんや大たい丈じょう夫ふをや。
- ⑨ 近きん者じやう尚な不なレ知ち、況い遠えん方ぽう乎。／近きん者じやうすら尚なほ知ちらず、況いんや遠えん方ぽうをや。
- ⑩ 一錢いっせん且し不しレ可こレ得とく、況い千せん金きん乎。／一錢いっせんすら且しつ得とくべからず、況いんや千せん金きんをや。

## 設問

- 例文①の「且」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで書け。
- 例文①の「況」の読みをひらがなで書け（送り仮名「んや」を含む）。
- 例文①「死馬且買之、況生者乎」を書き下し文に改めよ。
- 例文①を現代語訳せよ。「～できえ…、ましてや～は言うまでもない」の形を用いること。
- 例文①で「抑（軽い側）」にあたる語句と「揚（重い側）」にあたる語句を、本文中の語で抜き出せ。
  - 抑（軽） = ( )
  - 揚（重） = ( )
- 例文②の「尚」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで書け。
- 例文②「庸人尚羞之、況於将相乎」を書き下し文に改めよ。
- 「況」は単独でも「いはんや～をや」と読み、文末に「乎・哉」などを伴うことが多い。例文②で「いはんや」と呼応して文末に置かれ、「や」と読む字を一字で抜き出せ。
- 例文③「布衣之交尚不相欺、況大国乎」を現代語訳せよ。
- 例文④「死且不避、卮酒安足辞」は、前半で「死すら且つ避けず」と軽重を対比する抑揚を含む。前半部分だけを現代語訳せよ。
- 例文⑤の「猶」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで書け。
- 例文⑤で「抑（軽い側）」にあたる語句と「揚（重い側）」にあたる語句を、本文中の語で抜き出せ。
  - 抑（軽） = ( )
  - 揚（重） = ( )

13. 例文⑥「禽獸猶知恩、況於人乎」を書き下し文に改めよ。
14. 例文⑦「小人且畏天、況君子乎」を現代語訳せよ。
15. 例文⑧「匹夫猶不可奪志、況大丈夫乎」を書き下し文に改めよ。
16. 記述：例文⑧「匹夫猶不可奪志、況大丈夫乎」が結局のところ最も言いたいことは何か。現代語で簡潔に説明せよ。
17. 例文⑨「近者尚不知、況遠方乎」を現代語訳せよ。
18. 抑揚形「A且～、況B乎」で、文末の「乎」はどう読むか。ひらがなで書け。
19. 抑揚構文における「抑（よく）」とは何を指すか。次から選べ。
  - ア 結論として最も強調したい重い事柄を述べること
  - イ まず程度の軽い・小さい事柄を挙げておさえること
  - ウ 反語によって相手の意見を否定すること
20. 抑揚構文における「揚（よう）」とは何を指すか。次から選べ。
  - ア 前に挙げた軽い事柄を受けて、より重い事柄を強調すること
  - イ 主語を省略して文を短くすること
  - ウ 疑問の語気を添えて問いかけること
21. 抑揚形では、抑（軽い例）に「且」「猶」「尚」のような副詞を添えることが多い。例文①～⑩の中から、抑の語に「猶（なほ）」を用いている例文の番号をすべて挙げよ。
22. 記述：抑揚という構文が、軽いものをわざわざ先に挙げてから重いものを述べるのはなぜか。その表現効果を一文で説明せよ。